



平成22年(2010年)
10/1
第1235号

発行：小平市
編集：企画政策部
秘書広報課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報

こだいら

喫煙マナーアップ
キャンペーン実施中

毎月1回小平駅、花小金井駅で行っています。

STOP 歩きタバコ・ポイ捨て

※参加していただける
ボランティアの方も募集しています。

問合せ 環境保全課
☎042(346)9536



◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp>

◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp



第35回

太鼓だ！おびらだ！
こだいらだ！

山平市民まつり

10月17日(日) あかしあ通り

今年も、ふるさと小平の秋を華やかに彩る、小平市民まつりの季節がやって来ました。色とりどりの愛らしい子どもみこし、強い団結力が売りの市内ダンスチームによるダンスパレード、演奏や趣向を凝らしたパフォーマンスが楽しいパレード、迫力あふれる大人みこしが盛大に繰り広げられ、模擬店も多数出店します。今年は、姉妹都市北海道小平町からおびら太鼓もやってきます。

〈詳しくは、6・7面をご覧ください〉

市制施行48周年に当たり、ひと言「あいさつ」を申し上げます。玉川上水の通水に始まった小平の歴史も3百50年を経て、市制施行48年を迎える緑と文化の息づくまちに大きく変わりました。後半の歴史では、多摩地域全体に共通してありますが、ベッドタウンとして高度経済成長期の急速な人口流入により、農村から都市へと変貌を遂げました。

そのスピードは急激で、学校建設を始めとする施設整備、道路建設などのインフラ整備に追われる日々でありました。人口急増期の60年代には、年間1万人も人口が増加し、一年に小学校を2校建設したことも記憶に新しいところであります。平成に入ると、人口増加も安定し、行政も本腰を入れて、計画行政による次世代へ向けた本格的なまちづくりに着手いたしました。

市制施行記念日を迎えて

小平市長 小林 正則



ます。これからは過疎・過密を緩和し、自然や文化に力点を置いた都市づくりを目指すべきだと考えています。また、日本の少子高齢化の波は、小平市も例外

幸いにも、市には、拠点となる地域施設が多く整備されています(地域センター18館、公民館11館、図書館8館3分室、児童館2館など)。これらの施設を活用し、多様な地域資源により、連携・協働して地域の自治機能を高め、高齢者みずからが住む地域を豊かにしていくという事です。もちろん行政も積極的な職員参加でしっかりと連携してまいります。市民参加と職員参加の共存型市民自治のまちづくりです。先人が残してくれた歴史的な遺産や地域に存在している地域資源、そしてこれからのまちづくりには、しっかりと支え育ててきた人の資源をどう生かしていくかにかかっているのです。